

研究主題 わくわく どきどき 楽しい授業 ～ 児童文化手法を生かして ～

I 団体の概要・目的

本研究会は、「小学校における教育活動をより効果的にするため、児童文化の研究を推進する」ことを使命として、昭和35年に発足した団体である。また、平成29年度より、東京都教育委員会の研究認定団体として、更なる児童文化活動の発展と、今日的課題である学力や豊かな人間性の育成を育むために、授業力や指導力の向上を期して、研究を行っている。

< 本研究会の部会 >

- 1 学校劇部
- 2 童話部
- 3 ダンス部
- 4 パネルシアター部
- 5 総合表現部
- 6 ゲーム部

II 年間計画

(1) 月日・曜日	活動内容
R6. 6. 7 (金)	第1回研究会 「6つの手法のミニレクチャー」
7. 2 (火)	第2回研究会 「総合表現部、童話部授業研究」
8. 1 (木)	第3回研究会 「全体研究会 (発表会授業検討)」
	第4回研究会 「第1回夏季演劇指導 研修会」
8. 2 (金)	第5回研究会 「第2回夏季演劇指導 研修会」
10. 21 (月)	第6回研究会 「総合表現部授業研究」
R7. 1. 31 (金)	研究発表大会

(2) 会場：墨田区立錦糸小学校

III 研究主題について

学習指導要領に示された主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善において、本研究会が積極的に活用している手法は、どれも、学習のめあての達成に向けて、児童に興味・関心をもたせるという「主体的な学び」の源となっている。また、他者との関わりから、学ぶ楽しさを知り、違いを認め合い、自分の考えを広げ深める「対話的な学び」にもつながっていく。

研究主題「わくわく どきどき 楽しい授業」は、各教科のねらいをふまえて、子供達が、生き生きと学習する姿を想像している。また、本研究会が大切にしているコミュニケーション能力の育成にも関わってくる。「なぜ、どうして」という問いを基に、友達と共に課題解決を図る時にも、児童文化手法は大いに役立つものである。また、子供にとって、いつも安心した環境で、楽しみながら学ぶ機会を設けることが学びの意欲につながり、一人一人のもつ可能性や主体性を引き出し、創造力や表現力の育成にもつながっていく。

さらに、特別な配慮を要する児童の指導においても、児童文化手法を用いて個々の実態に応じた手立てを講じることができる。全ての児童に確かな学習を保証することによって、児童が着実に学力を身に付けて心身共に豊かな人間性を育むことを切に願って、本研究会では研究を行っていく。

IV 研究発表大会

第 37 回 全国公立小学校児童文化研究会研究発表大会

第 59 回 東京都小学校児童文化研究会研究発表大会

(1) 研究テーマ

わくわく どきどき 楽しい授業 ～児童文化手法を生かして～

(2) 日時 令和7年1月31日(金) 13時～16時45分

(3) 場所 墨田区立錦糸小学校

(4) 内容

① オープニング (児童による合唱・錦糸囃子)

② 授業公開

- ・ 1年生 国語(ゲーム) ・ 学級活動(総合表現)
- ・ 2年生 算数(パネルシアター)
- ・ 3年生 体育(ダンス) ・ 国語(童話)
- ・ 4年生 学級活動(ゲーム)
- ・ 5年生 国語(学校劇) ・ 学級活動(ゲーム)
- ・ 6年生 学級活動(劇 劇団風の子)

③実技研修

- ・ 学校劇部 学芸会で使える、映える、安全な指導法
- ・ ダンス部 リズムに合わせてウォームアップ
- ・ パネルシアター部 授業で使おうパネルシアター
- ・ 総合表現部 手作りパペットでおしゃべりしよう!
- ・ 童話部 教師の童話 ～お話で心豊かな～
- ・ ゲーム部 子供が心を開く楽しいゲーム

④記念公演

相撲道を生きる ～玉ノ井親方の挑戦と情熱～
 講師 元大関 栃東関 現 玉ノ井親方

V 各部会における教育活動の意義

当研究会では6つの部会により、児童に対し主に次の力を育てることを目標に活動に取り組んでいる。

(1) 学校劇部・・・授業の中に演劇的な表現活動を取り入れることによって、具体的にイメージを膨らませることができる。

(2) 童話部・・・素話で子供達を引き付けることによって、子供たちの創造力を広げ、集中力を高めることができる。

(3) ダンス部・・・身体全体で表現することによって、喜びや楽しみが広がる。また、自分の思いを伝えることができる。

(4) パネルシアター部・・・視覚に訴えることで、話の中に入り込み、登場人物の心情を考えることができる。

(5) 総合表現部・・・総合的な学習の時間で用いる児童文化手法として、より広い視野で子供の興味関心や表現力を引き出すことができる。

(6) ゲーム部・・・教科学習の内容をゲーム感覚で楽しみ、苦手意識を減らして、学習に参加することができる。

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都小学校児童文化教育研究会
代表者	所属	葛飾区立南綾瀬小学校
	職 氏名	校長 宮内 和彦
	連絡先	03-3602-9597
事務局	所属	墨田区立錦糸学校
	職 氏名	校長 高山 幸
	連絡先	03-3625-0311